

| | | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|--------|------|----|
| 事業名 | 動物愛護管理指導費 | | | 調書番号 | 44 |
| 細事業名 | 動物適正飼養事業費 | 財務コード | 088406 | | |
| 担当部課室 | 福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線) | | 3456 | | |

I 事業の概要

| | | | | | | | |
|----------------------------------|---|--------------|-----------------|--------------|----------------------------------|-------------------------|--------------|
| 実施期間 | 始期 H16 年度 ~ 終期 年度 | | | | | | |
| 実施主体 | 県(直営) | | | | | | |
| 目的 | <table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>①犬及び猫の飼養者 ②犬及び猫をこれから飼養しようとする者</td> <td>犬及び猫の習性や正しい飼い方などを学び理解する</td> <td>犬及び猫の適正飼養の推進</td> </tr> </table> | だれ(何)を対象に | その対象をどのような状態にして | 結果、何に結びつけるのか | ①犬及び猫の飼養者 ②犬及び猫をこれから飼養しようとする者 | 犬及び猫の習性や正しい飼い方などを学び理解する | 犬及び猫の適正飼養の推進 |
| だれ(何)を対象に | その対象をどのような状態にして | 結果、何に結びつけるのか | | | | | |
| ①犬及び猫の飼養者 ②犬及び猫をこれから飼養しようとする者 | 犬及び猫の習性や正しい飼い方などを学び理解する | 犬及び猫の適正飼養の推進 | | | | | |
| 内容 | ①犬の飼い方教室の開催(動物愛護指導センターで実施) ・ステップ1、ステップ2、パピーコース(10回/年) ・譲渡前講習会(15回/年) ②猫の適正飼養講習会(飼い方教室は外部講師、暮らし方教室は動物愛護指導センターで実施) ・猫の飼い方教室(1回/年) ・猫との暮らし方教室(12回/年) | | | | | | |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 区分 | 指標 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31(R1)年度 | R2年度 |
|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| 活動指標 | 目標 | 36 | 36.0 | 36.0 | 36.0 | 36.0 | 36.0 | 36.0 |
| | 実績(見込) | 35 | 31.0 | 34.0 | 41.0 | 38.0 | 36.0 | |
| | 達成率 | 97.2 | 86.1 | 94.4 | 113.9 | 105.6 | 100.0 | |
| | 達成区分 | b | b | b | b | b | b | |
| 成果指標 | 目標 | 172 | 172.0 | 172.0 | 172.0 | 172.0 | 172.0 | 172.0 |
| | 実績(見込) | 189 | 191.0 | 169.0 | 135.0 | 175.0 | 172.0 | |
| | 達成率 | 109.9 | 111.0 | 98.3 | 78.5 | 101.7 | 100.0 | |
| | 達成区分 | b | b | b | c | b | b | |
| 決算(予算) 単位:千円 | | 237 | 226 | 165 | 160 | 181 | 185 | 185 |

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

| | | | |
|------|---|----|---|
| 活動指標 | b | 評価 | 犬の飼い方教室及び猫の適正飼養講習会の年間実施数の過去5年間の平均を指標としている。動物愛護指導センターで限られた人員であるが、ほぼ計画的に実施している。 |
| 成果指標 | b | | 犬の飼い方教室及び猫の適正飼養講習会の参加者の過去5年間の平均を指標としている。開催した教室及び講習会で参加予定数をほぼ達成しており、成果をあげている。 |

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

| | | |
|-----------|----|--|
| 県関与の必要性 | 判定 | <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い |
| | 説明 | <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 有効性(成果向上) | 判定 | <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない |
| | 説明 | 犬及び猫の適正飼養の推進につながる。 |
| 見直しの余地 | 判定 | <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない |
| | 説明 | <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 () |
| その他 | 説明 | 講習会の実施方法や開催数などの見直しを行って、経費の節減に努めている。 |
| 見直しの必要性 | 無 | 将来的には民間委託などの検討の余地があるかもしれないが、これまでに講習会の実施方法や開催数などの見直しを行って、経費の節減を図っており、当面見直しの必要性はない。 |

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

| | | |
|-------|----|--|
| 現行どおり | 説明 | |
|-------|----|--|

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。